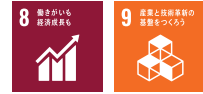


地域経済の活性化を促進する 産業の振興(産業)

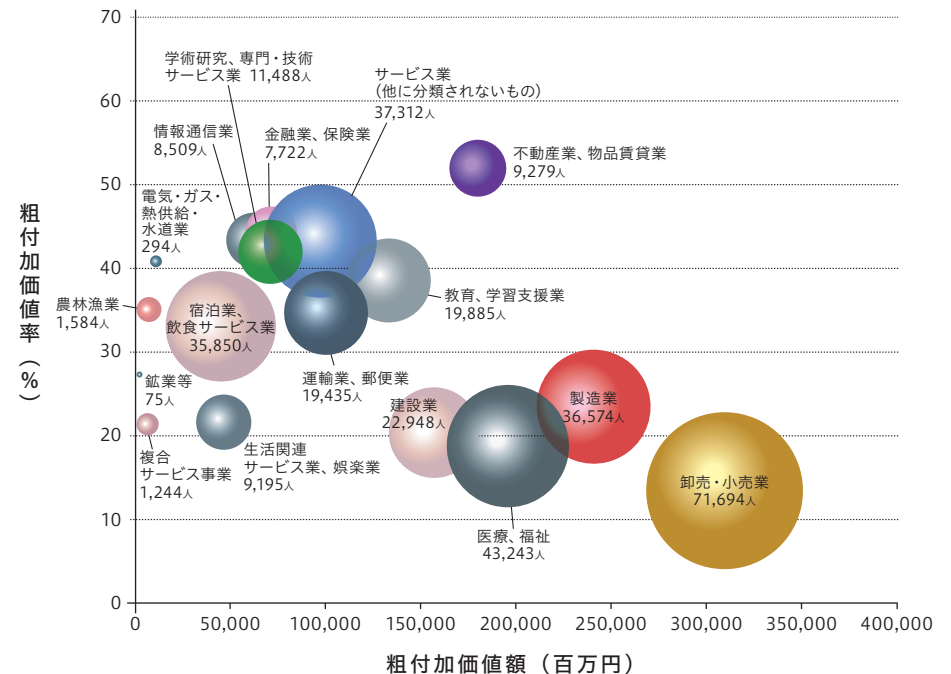


現状と課題

- 平成23年から令和3年までの市内総生産¹ (実質)の増加率は6.8%で、政令指定都市の中で3番目に高く、市内経済は堅調な伸びを示しています。今後、地域経済が持続的に成長していくためには、市内企業の製品・サービスの高付加価値²化によって、地域の「稼ぐ力」が高まり、さらには市民の所得への分配、地域内の消費拡大につながる好循環を創出する必要があります。
- 地域経済の成長には、スタートアップ³や市内企業等が社会へ新たな価値を提供するイノベーション⁴の創出が重要になります。岡山市では、スタートアップ支援拠点「ももスタ」を中心に経済成長の担い手として期待されるスタートアップの創出と成長支援を官民が連携して実施しています。イノベーションの創出を加速させるためには、コミュニティの更なる充実を図り、スタートアップ等が互いに刺激を受け、新たなアイデアや協業等を生み出す必要があります。また、新たなビジネス創出や事業領域への進出に挑戦する市内企業を後押しすることも必要です。
- 長引く原材料・エネルギー価格の高騰や金利上昇に加え、米国の関税政策、中国経済の減速や為替変動など、世界情勢の不確実性の高まりは、市内企業へ大きな影響を与えており、こうした事業環境の変化に対応していくためには、経営基盤の強化が必要となっています。
- 人口減少や少子高齢化の進行による生産年齢人口の減少や、若者の首都圏への人口流出等に伴う労働力不足が進む中、これまでも求職者の希望に沿った就業支援に取り組んできましたが、さらに市内企業の人材確保や省人化・省力化に向けた取組を進めていく必要があります。また、経営者の高齢化が進み、60歳以上の経営者の後継者不在率が高止まりする中、円滑な事業承継⁵の推進と将来の後継者となる人材の育成を進めていく必要があります。
- 商店街では、店主の高齢化や店舗の老朽化等により、空き店舗が散見される状況にあります。一方で、岡山芸術創造劇場ハレノワのオープンや、ハレまち通り、駅前広場の整備、活発な民間再開発事業等により、人の流れは大きく変化しており、こうした好機を捉えた商店街の更なる魅力向上、活性化促進が課題となっています。

- 岡山市は、中四国のゲートウェイとして優れた広域拠点性を有し、災害リスクの低さや大学等が多く人材が豊富であることから、製造工場や物流施設、本社や中四国支店等の広域的営業拠点、IT・デジタルコンテンツ産業等の立地において優位性を有しています。一方で、市内企業の事業成長、事業拡大に向けた用地確保や、域外からの企業誘致において、製造工場や物流施設の用地不足が課題となっています。

岡山市産業(企業ベース)の稼ぐ力と雇う力(令和3年)



(注1) バブルの大きさは雇員数を表す。
 (注2) 事業所を調査対象としているため、個人事業主の多い農林漁業の値が小さくなる。
 (資料) 総務省・経済産業省「経済センサス活動調査(R3)」

施策の方向性

施策① 新たな価値を生み出すイノベーション創出の促進

- 支援拠点「ももスタ」を中心にスタートアップの裾野拡大と事業成長を図るため、伴走支援や資金調達環境の整備、相乗効果が期待される市内企業・支援機関・スタートアップの交流、学生を中心とした若年層の起業家精神の醸成等を促進します。
- 第2期スタートアップ・エコシステム⁶拠点都市（NEXTグローバル拠点都市⁷）として、岡山市を含むエリアの産官学金言等の関係機関が一体となりスタートアップ・エコシステムを形成し、スタートアップ等の創出や成長を推進します。
- 市内企業の製品・サービスの付加価値向上と競争力強化に向けて、新規事業の創出に取り組む市内企業を支援します。

施策② 地域経済の持続的な発展に向けた事業成長の支援

- 市内企業の持続的な発展を実現するため、デジタル化や設備投資支援等を通じて、企業の労働生産性⁸や付加価値の向上、持続的な賃上げを促進します。
- マーケティング活動や新分野進出に係る設備投資への支援を通じて、新たな市場の開拓や販路の拡張につなげ、中小企業の事業成長を支援します。
- 創業に必要な実務知識の習得や資金繰りへの支援等を強化し、創業しやすい環境づくりを進めます。

施策③ 安定した経営を可能にする事業環境の整備

- 市内企業の人材確保のため、新規学卒予定者やUIターン⁹希望者等の求職者に向けた企業情報の効果的な発信、企業説明会等による求職者と市内企業との交流機会の充実等により、雇用のマッチングを推進します。

用語説明

- 1 市内総生産：P7の脚注参照。
- 2 付加価値：P12の脚注参照。
- 3 スタートアップ：新しい企業であって、新しい技術やビジネスモデル（イノベーション）を有し、急成長をめざす企業。
- 4 イノベーション：P12の脚注参照。
- 5 事業承継：会社や事業を後継者に引き継ぐことを指し、親族内承継、従業員承継、第三者承継（M&A）の3つの方法がある。
- 6 スタートアップ・エコシステム：スタートアップが自律的、連続的に生み出される仕組み。

- 人口減少に伴う労働力不足を踏まえた事業経営を後押しするため、市内企業の省人化・省力化に向けた取組を支援します。
- 中小企業の貴重な経営資源や、雇用・技術を次世代に引き継ぐため、円滑な事業承継に向けた環境整備を推進します。
- 商工会議所・商工会との連携により、経営基盤が弱い中小・小規模事業者の資金調達の円滑化や専門家による相談支援体制の充実を図り、中小企業の経営安定化を進めます。
- 商店街において、賑わいづくりや空き店舗対策を支援するとともに、市内の商業の活性化を促進するため、新たな担い手の創出・育成などに取り組みます。

施策④ 拠点性をいかした企業立地の推進

- 岡山市の優れた広域拠点性等の特性をいかし、製造工場や物流施設、企業の本社機能や中四国支店等の広域的営業拠点、IT・デジタルコンテンツ産業等の立地を進めます。
- 市内における企業用地の確保に向けて、地域未来投資促進法¹⁰の活用や産業拠点周辺の市街化調整区域¹¹での開発許可の緩和により、高速インターチェンジ周辺、物流軸沿線及び産業拠点周辺において、製造工場や物流施設等の立地を進め、企業の投資を促進します。
- 市内に本社を有する企業の本社機能の拡充や、市内に立地する製造業の設備等への再投資の支援など、市内立地企業の拠点強化及び機能強化を図り、市外への流出を防止します。

- 7 NEXTグローバル拠点都市：地域のとがった産業構造やリソースをいかして、地域経済を活性化しながら海外エコシステムにもつながる拠点都市。
- 8 労働生産性：P65の脚注参照。
- 9 UIターン：大都市圏から出身地に移住する「Uターン」、出身地以外の地方に移住する「Iターン」、出身地の近くの地方都市に移住する「Jターン」など、大都市圏の居住者が地方に移住する際の形態の総称。
- 10 地域未来投資促進法：地域の特性をいかして高い付加価値を創出し、地域への相当の経済的効果を及ぼす「地域経済牽引事業」を実施する事業者に対し、税制措置や規制の特例措置等の支援をするための法律。
- 11 市街化調整区域：都市計画法に基づく都市計画区域のうち、市街化を抑制すべき区域。

成果指標

指標名	基準値 R6	目標値 R12
スタートアップ創出数(累計)	50社	110社
付加価値向上に向けた市の支援を受けた事業者数	80者	470者 (R8～R12の合計)
企業立地・再投資件数	7件	65件 (R8～R12の合計)

主な事務事業

施策① 新たな価値を生み出すイノベーション創出の促進

スタートアップ支援事業	産業観光局
<ul style="list-style-type: none"> ● スタートアップ支援拠点「ももスタ」を中心とするスタートアップの裾野拡大や成長の支援 ● スタートアップを取り巻くステークホルダー¹²との有機的な連携の推進や起業家コミュニティの発展の支援 ● 行政課題の解決とスタートアップの成長のための先進技術社会実証の支援 ● スタートアップ・エコシステム拠点都市としての地域間相互連携支援 	
新規事業創出支援事業	産業観光局
<ul style="list-style-type: none"> ● 企業の新規事業創出の取組に関する伴走支援や経費の支援の実施 ● 新規事業の創出に向けた課題の洗い出しや計画策定、試作品の開発・検証等による伴走支援の実施 ● 新規事業を創出するために必要な技術等を持つ企業との協業や事業化に向けた実証の支援 	

用語説明

¹² ステークホルダー：P49の脚注参照。

¹³ IoT：P12の脚注参照。

施策② 地域経済の持続的な発展に向けた事業成長の支援

設備投資支援事業	産業観光局
<ul style="list-style-type: none"> ● 生産性向上や競争力強化に資する設備投資支援のための経費の補助 	
デジタル化支援事業	産業観光局
<ul style="list-style-type: none"> ● 市内中小企業のITツールの活用や、IoT¹³・AI等先端技術の導入など各種デジタル化に向けた支援の実施 	
創業支援事業	産業観光局
<ul style="list-style-type: none"> ● 開業に必要な知識の習得や事務手続きに関する個別相談等による開業しやすい環境づくりの実施 ● 岡山市での創業を促進するための補助 	
販路開拓支援事業	産業観光局
<ul style="list-style-type: none"> ● 市内中小企業のマーケティング活動や見本市出展等の支援の実施 	
<h3>施策③ 安定した経営を可能にする事業環境の整備</h3>	
事業承継支援事業	産業観光局
<ul style="list-style-type: none"> ● 後継者不在の課題を抱える事業者の円滑な事業承継を支援するための人材育成と地域における支援体制の充実 ● 中小企業における親族・従業員承継の早期検討と承継に当たっての課題解決を支援するため、事業承継計画の作成等に要する経費を補助 	
経営安定化支援事業	産業観光局
<ul style="list-style-type: none"> ● 中小企業の資金繰り支援や中小企業診断士等の専門家による相談支援体制の充実 	
商業振興・商店街活性化事業	産業観光局
<ul style="list-style-type: none"> ● 商店街等の魅力向上・活性化に対する支援 ● 商店街の空き店舗解消に対する支援 ● 地域商業の新たな担い手の創出・育成 	

雇用対策等事業

産業観光局

- 幅広い世代を対象とした就職支援事業による市内企業の人材確保の支援
- 市内企業の企業情報の収集・整理及び大学生等への提供による情報発信
- 新規学卒者等を対象とした合同企業説明会の実施
- 市内企業への就職促進のための、県内外の学生と市内企業との交流の場の創出
- 外国人留学生等と企業の交流の場の創出等による市内企業の人材確保の支援

施策④ 拠点性をいかした企業立地の推進

企業立地推進事業

産業観光局

- 地域未来投資促進法の活用や産業拠点周辺の市街化調整区域での開発許可の緩和による企業の用地確保の支援
- 製造工場や物流施設の立地に対する補助
- 市内既存工場等の再投資・拠点強化に対する補助
- 本社・中四国支店等広域的拠点やIT・デジタルコンテンツ産業等の立地企業に対する補助

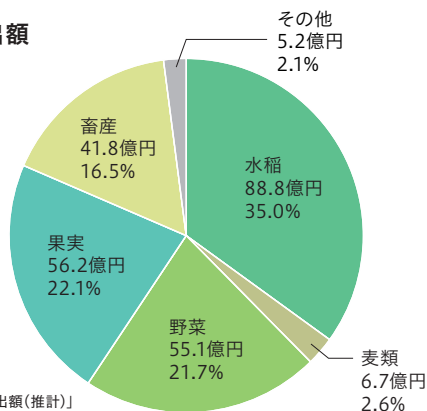
多彩で魅力ある持続可能な 農林水産業の振興(農林水産業)



現状と課題

- 岡山市では、恵まれた気候風土のもとで、果樹、米麦、野菜等の多彩な農作物が生産されており、総農家戸数が全国第5位(令和2年)であるなど、全国有数の農業都市です。近年、農業者の高齢化や担い手不足が急速に進む中で、儲かる農業の実現と持続可能な農業をめざしていくことが重要となっています。
- 農業者の高齢化や減少に伴い、広大な農地とこれを支える多数の農業用施設の維持が困難になりつつあるとともに、遊休農地や鳥獣被害も増加傾向にあります。このような中、多様な農業の維持・拡大を図るために、生産基盤の確保・強化や、担い手への農地の集積・集約による効率化に取り組むことにより、農業の生産性を高める必要があります。また、農村地域の持続的な発展に向けて、地域住民も巻き込みながら農業用施設の維持・強化や鳥獣被害対策に取り組むことにより、景観の形成や、防災・減災力の強化などの農業・農村が持つ多面的な機能の発揮の促進を図ることが重要となっています。
- 岡山市で生産される白桃やマスカット、ピオーネ等の果物や千両なすや黄いら等の野菜は、市場から高い評価を得て、都市ブランドの一つとなっており、産地間競争に負けないよう、引き続きブランド力を強化する必要があります。また、地産地消や都市と農村の交流等を推進することにより、市内産農産物の更なる消費拡大につなげることが求められています。

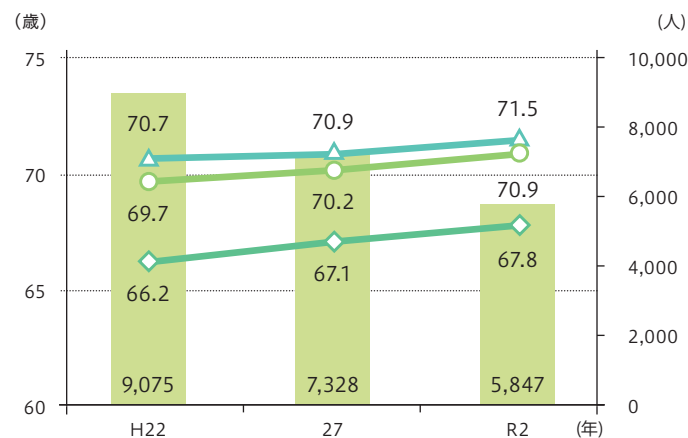
岡山市品目別農業産出額
(令和5年)



(資料)農林水産省「市町村別農業産出額(推計)」

- 近年、食料の安定供給・農林水産業の持続的発展と環境保全の両立が求められています。農業に由来する環境負荷を低減し、温暖化防止や生物多様性保全等に効果の高い農業生産活動を推進していく必要があります。また、温暖化防止や国土保全等の機能を有する森林の適切な保全や活用に努めていく必要があります。さらに、近年の海域環境の変化に伴い、主要水産物であるノリの生産量の変動や品質低下への対応、漁場環境の改善、漁獲高の減少に対処していく必要があります。
- 人口減少や消費動向の変化に伴う生鮮食料品等の需要の減少が予想されています。また、卸売市場の多くの施設の老朽化が進む中で、市民の台所として、安定的かつ持続的に農水産物を供給する卸売市場の役割を将来に向けて維持していくために、市場の施設規模の最適化を検討していく必要があります。

基幹的農業従事者の推移及び平均年齢



■ 岡山市従事者数 ● 平均年齢(岡山市) ▲ 平均年齢(岡山県) ◆ 平均年齢(全国)

※基幹的農業従事者:15歳以上の世帯員のうち、ふだん仕事として自営農業に従事した者

(資料)農林水産省「農業センサス」

施策の方向性

施策① 担い手の確保・育成と所得向上

- 岡山市就農サポートセンターでの就農相談や、県内外での就農相談会等をはじめ、短期体験や関係機関と連携した実務研修等の実施など、就農希望者の状況に応じたきめ細かな対策を行い、新規就農者の確保を図るとともに、農福連携¹等の推進により、地域農業を支える多様な人材の活用を促進します。
- 持続可能な農業経営の確立に向け、経営改善に意欲のある農業者に対し、新たな栽培技術やスマート農業² 機械・設備等の導入を支援するなど、生産性の向上や安定生産を促進します。

施策② 生産基盤の確保・整備と農村振興

- 国や県と連携し、農地の大区画化や排水改良等を通じた生産性向上に取り組むとともに老朽化した農業用施設の適切な補修・長寿命化対策等を推進します。また、優良農地の確保に努めるとともに、地域計画³の実現に向け農地中間管理機構⁴を活用した農地の集積・集約化等を推進します。
- 地域住民が共同で行う農地・農業用施設の保全活動や農地等の環境資源をいかした景観形成等、地域活性化に向けた取組を支援します。また、有害鳥獣による農作物被害を防止するため、実態調査の実施、関係団体や地域との協働による啓発、防護、捕獲等の活動を通じて、有害鳥獣に強い地域づくりを推進します。

施策③ 食と農の魅力発信

- 品質の高い市内産農産物について、生産者団体等と連携したPR活動や6次産業化⁵等の支援により、販路拡大やブランド力の強化を図ります。また、生産者と消費者の交流イベント等の開催により、地産地消の推進や地元農産物への愛着の醸成を図ります。

用語説明

- 1 農福連携：障害者等が農業分野で活躍することを通じ、自信や生きがいを持って社会参画を実現していく取組。障害者等の就労や生きがいづくりの場を生み出すだけでなく、農業分野の新たな働き手の確保につながる可能性もある。
- 2 スマート農業：ロボット技術やICTを活用して超省力・高品質生産を実現する新たな農業。

- 都市住民と農村住民の交流や、食と農に対する理解を一層深めるため、岡山市サウスヴィレッジや牧山クラインガルテンの利用促進を図ります。

施策④ 環境に配慮した農林水産業の推進

- 農業の自然循環機能の維持増進に配慮しつつ、化学肥料・農薬の使用を低減し、緑肥や堆肥等を活用する環境にやさしい農業を推進し、持続可能な食料の安定供給体制の構築を図ります。
- 市民の憩いの場となる森林公園や林道等の維持管理のほか、森林所有者の経営管理への支援や木材の利用促進等を通じて、森林の適切な保全や森林資源の循環利用を推進します。また、ノリ養殖の生産基盤の強化や岡山産ノリの消費拡大等に取り組むとともに、漁場資源の回復や漁場環境の保全活動の取組を推進し、漁業経営の安定化を図ります。

施策⑤ 安全・安心な生鮮食料品等の安定供給

- 市民に安全・安心な生鮮食料品等を安定的に供給する卸売市場の機能を今後も維持していくため、官民連携のもと、将来の取扱数量等の見通しを踏まえた施設の再整備に取り組むとともに、効果的・効率的で持続可能な市場運営を推進します。
- 市場開放イベントを通じて、周辺地域の販わい創出や、食育・花育の推進に貢献します。

- 3 地域計画：農業者や地域住民の話し合いに基づき、各地域における将来の農地利用状況を明確にするもの。
- 4 農地中間管理機構：都道府県、市町村、農業団体等が出資して組織されている法人であり、都道府県知事が都道府県に一つに限って指定し、農地を所有者等から借受け、担い手等へ貸付を行う組織。
- 5 6次産業化：農林漁業者（第1次産業）が、農林水産物を原料とした食品加工（第2次産業）や製品の販売、サービス（第3次産業）までを総合的・一体的に行うことで、新たな付加価値を生み出す取組。

成果指標

指標名	基準値 R6	目標値 R12
新規就農者数	31人	150人 (R8～R12の合計)
多面的機能支払交付金事業認定面積	4,086ha	4,386ha
環境保全型農業直接支払 交付金取組面積	97ha	139ha
岡山産の野菜・果物等の購入を 意識している市民の割合	68% (R5)	80% (R11)

主な事務事業

施策① 担い手の確保・育成と所得向上

農業の担い手の確保・育成事業

産業観光局

- 就農相談会や農業体験研修等の実施による新規就農の促進
- 新規就農者への奨励金給付や就農直後の経営確立に資する資金の交付
- 農福連携など多様な人材活用の促進

農業経営力向上対策事業

産業観光局

- 水田農業の大規模化、地域振興作物の産地化などへの支援
- 園芸作物や米・麦・大豆等の生産性向上に必要なスマート農業機械の導入や設備整備等への支援

施策② 生産基盤の確保・整備と農村振興

農業農村整備事業

産業観光局

- 農業生産性の向上を図るための農地の大区画化、排水改良の実施
- ライフサイクルコスト⁶の低減に向けた農業用施設の改修や補修・長寿命化対策の実施

水利関係者等支援事業

産業観光局

- 主要な農業用施設の補修・維持管理を担う土地改良区や水利関係者等に対する支援

優良農地確保事業

産業観光局

- 農業振興地域整備計画による農業生産の基盤となる農用地等の確保
- 地域計画による農地の集積・集約化等の取組の促進
- 担い手への農地集積に対する支援

農村地域活性化事業

産業観光局

- 多面的機能支払交付金制度による地域共同活動の支援
- 中山間地域等直接支払交付金制度による農業生産活動の支援

農作物被害対策事業

産業観光局

- イノシシ等有害鳥獣の駆除、駆除班活動への支援、侵入防止柵の整備推進
- 岡山市鳥獣被害対策実施隊による、農業者等に対する鳥獣被害防止のための啓発活動等の実施
- 有害鳥獣による農作物被害を防止するための実態調査の実施

用語説明

⁶ ライフサイクルコスト：施設の計画・設計・施工から、維持管理、最終的な解体・廃棄までに要する費用の総額。

施策③ 食と農の魅力発信

農産物販路拡大支援事業	産業観光局
<ul style="list-style-type: none"> ● 首都圏や関西圏等での市内産農産物のPR活動 ● 農業者団体等による農産物のブランド化への取組の支援 ● 大規模な食品見本市へ出展する農業者への補助 	
地産地消推進事業	産業観光局
<ul style="list-style-type: none"> ● 生産者と消費者の交流及び消費拡大に向けた地産地消イベント等の開催 ● 就学前施設や小学校等が地域で実施する農業体験事業等への支援 	
都市農村交流施設・資源活用事業	産業観光局
<ul style="list-style-type: none"> ● 農業公園（岡山市サウスヴィレッジ）や市民農園（牧山クラインガルテン）を活用した都市農村交流の促進 	

施策④ 環境に配慮した農林水産業の推進

環境保全型農業推進事業	産業観光局
<ul style="list-style-type: none"> ● 環境保全型農業直接支払交付金制度などの活用により化学肥料・化学農薬の使用を低減し、環境に配慮した農業を推進 ● みどりの食料システム戦略⁷の推進や、スマート技術の実証及び導入支援 	
林業振興事業	産業観光局
<ul style="list-style-type: none"> ● 林業者の移動・運搬道路及び地域住民の生活道路に利用される林道の維持管理 ● 市民に憩いとレクリエーションの場を提供する森林公園の維持管理 ● 森林経営管理制度を活用した森林の適正な経営管理の推進 	
水産業振興事業	産業観光局
<ul style="list-style-type: none"> ● ノリ養殖の安定した生産と品質向上に向けた設備等の導入への支援 ● 漁業資源、漁獲量の回復を目的とした種苗放流や漁場環境の保全活動への支援 	

用語説明

⁷ みどりの食料システム戦略：農林水産省が令和3年5月に策定した、食料・農林水産業の生産力向上と持続可能性の両立をイノベーションで実現するための政策方針。

施策⑤ 安全・安心な生鮮食料品等の安定供給

卸売市場再整備事業	市場事業部
<ul style="list-style-type: none"> ● 市場取扱数量に応じた施設規模や品質・衛生管理改善に対応した施設の再整備 ● 環境に配慮した設備の導入 	
卸売市場活性化事業	市場事業部
<ul style="list-style-type: none"> ● 市場の認知向上と市場利用者の増加や食育・花育の推進を目的とした市場開放イベントの開催やSNS等を活用した情報発信 	

国内外の人を引き寄せる 観光・交流の推進(観光・交流)



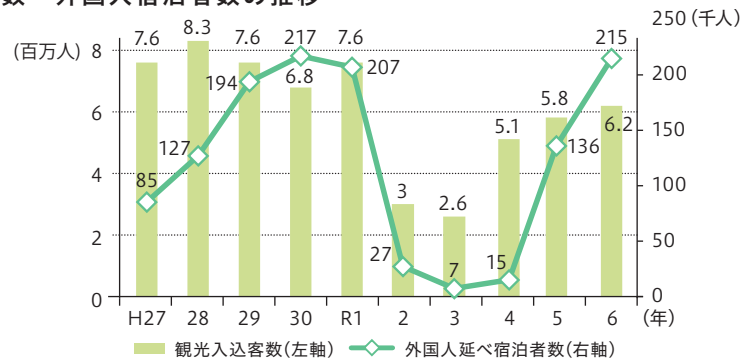
現状と課題

- 岡山市は、中四国における広域交通の結節点であり、豊富な歴史・文化遺産、高品質の果物に代表される農産物や瀬戸内海の高品質な海産物等を用いた食文化など、多彩な観光資源に恵まれています。しかし、その交通利便性の高さや地域資源を観光客の宿泊・滞在に十分いかしきれておらず、また、人口減少による国内旅行市場への影響に加え、観光産業を支える人材の不足といった課題や、好調なインバウンド¹需要も国際情勢や為替レート変動といった外部要因に大きく左右されるリスクがあるなど、観光を取り巻く環境は常に大きく変動している中で、持続可能な観光地域づくりを進めることが重要です。
- 観光の目的地として選ばれ、宿泊客や観光消費額の増加、滞在時間の延長につなげるため、岡山市固有の観光資源に磨きをかけるとともに、近隣自治体との連携による魅力的な観光ルートの創出や情報発信力の強化が課題となっています。また、好調な外国人観光客の誘致については、各国の観光市場の動向を的確に把握・分析し、さらにプロモーションや受入体制の充実・強化を進めていく必要があります。
- 医療・福祉関連産業や学術研究機関の集積、コンベンション²施設の立地の良さなど、岡山市の強みをいかしたコンベンション誘致に取り組んでいるものの、近年の開催件数と参加者数は、コロナ禍で普及したハイブリッド開催³の増加や国内他都市との競合により、コロナ禍前の水準には達していません。そのような状況の中、高い経済効果が見

込め、岡山市の都市イメージを国内外に発信できるコンベンションの更なる誘致・開催に向けて、岡山大学をはじめとした地元主催者との関係を一層強化するとともに、企業主体で行われるミーティングやインセンティブ旅行⁴も含め、多様な主体によるMICE⁵の誘致に取り組んでいく必要があります。

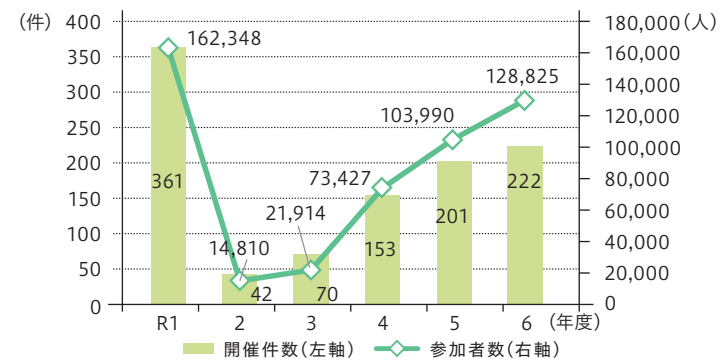
- 全国的な岡山市の認知度は、必ずしも高いとは言えない状況にあります。このため、岡山固有の歴史・文化に由来し、都市イメージとして広く浸透している「桃太郎」を積極的に活用することにより、岡山市の認知度や好感度の向上を図り、観光誘客につなげていくためのプロモーションを戦略的に展開していく必要があります。
- 人口減少や少子高齢化が進む中で、岡山市の暮らしやすさや魅力が伝わる情報発信の強化や首都圏・関西圏での移住者誘致に取り組み、地域経済や社会を支える人材の確保に取り組んでいく必要があります。
- 県内出身の若者や県外から市内に来ている大学生等の定着を促進するため、まちの魅力を伝えるとともに、若者の働き方に関するニーズ等の把握に努め、若者が岡山で希望する働き方を実現できる環境整備を進める必要があります。また、地域活性化に資する関係人口の創出・拡大への取組を進めていく必要があります。

観光客数・外国人宿泊者数の推移



(資料)岡山市観光統計、観光庁宿泊旅行統計調査

コンベンション開催状況の推移



(資料)公益社団法人おかやま観光コンベンション協会

施策の方向性

施策① 広域的な観光・インバウンドの推進

- 岡山連携中枢都市圏⁶の自治体や瀬戸内海でつながる地域等と連携し、テーマやストーリー性を重視した観光ルートの開発や情報発信等により、地域全体の魅力向上を図ります。
- 観光の目的地として選ばれ、瀬戸内海を中心とした広域周遊観光のベース宿泊地となることをめざし、日本遺産をはじめとする歴史・文化遺産や豊かな食文化等の岡山市固有の観光資源の魅力を高めつつ、観光客の利便性向上や快適な環境整備を行うとともに、観光体験メニューや食の開発、観光ガイド等によるおもてなし機運の醸成等により、宿泊地としての魅力向上と新たな観光客やリピート客の獲得を図ります。
- 岡山市のシンボルである岡山城は、デジタル技術を活用した、天守内の展示や人気コンテンツと連動した企画、烏城公園を活用した季節ごとのイベント実施などを行い、観光誘客と賑わい創出を図ります。
- 東アジアを中心に観光客の増加を押し上げているインバウンド市場においては、各国・地域のニーズ等に合わせた情報発信や受入体制を整備するなど、インバウンド施策を推進します。

施策② 産学官連携によるMICEの誘致

- 岡山市、おかやま観光コンベンション協会、岡山コンベンションセンターに加えて、岡山大学や岡山理科大学、岡山商工会議所等の産学官が連携し、MICEの誘致・開催体制をさらに強化するとともに、主催者へ機を逃さず情報や支援を提供することにより、MICE開催を促進します。

- 「G20岡山保健大臣会合」や「グローバルRCE⁷会議」等の国際会議の開催経験や、SDGs⁸・ESD⁹分野の施策推進により培われたサステナビリティの視点をMICE誘致・開催における強みとし、国際会議の主催者との関係強化や、様々な経路や手段を活用した情報収集・セールスを展開し、国際会議の積極的な誘致に取り組むとともに、ユニークベニュー¹⁰の開発やおもてなしの強化等により受入体制の充実・強化を進めます。

施策③ 都市ブランドをいかした観光プロモーションの推進

- 「桃太郎」をキーワードに岡山市が持つ様々な魅力を発信し、認知度向上を図るため、海外や首都圏のマスコミ、旅行会社等への情報発信やファミトリップ¹¹の実施等、国内外に向けた効果的なプロモーションを戦略的に展開します。

施策④ まちを支える人材の移住・定住促進

- 若い世代をはじめとした今後の社会・経済を支える層に向けて、「暮らすまち・働くまち」としての岡山市の魅力やSNS等により積極的に発信するとともに、首都圏・関西圏における岡山での就職支援を核とした相談窓口の設置や移住希望者等のニーズを踏まえた支援施策に取り組みます。
- 若者の岡山への定着を進めるため、まちづくりへの参加や地域とつながる仕組みづくりを通して地域への愛着の醸成を図るとともに、若者が働きやすい環境づくりや市内企業等の情報提供を行います。
- 岡山市の魅力や特色を首都圏等、広く市外へ情報発信することで、地域活性化につながる関係人口の創出・拡大を図ります。

用語説明

- 1 インバウンド：P12の脚注参照。
- 2 コンベンション：P8の脚注参照。
- 3 ハイブリッド開催：コンベンション等を現地参加とオンライン参加で併催する方式。
- 4 インセンティブ旅行：成績優秀な社員や販売店などを対象に、企業が報奨として行う旅行。報奨旅行。
- 5 MICE：P16の脚注参照。
- 6 連携中枢都市圏：P28の脚注参照。

- 7 RCE：P9の脚注参照。
- 8 SDGs：P23の本文参照。
- 9 ESD：P9の脚注参照。
- 10 ユニークベニュー：会議やレセプション開催時に、歴史的建造物や公的空間等で特別感や地域特性を演出できる施設。
- 11 ファムトリップ：観光地などの誘客促進のために、旅行会社等を招いて行う現地視察旅行。

成果指標

指標名	基準値 R6	目標値 R12
観光客数	6,207千人	8,755千人
外国人延べ宿泊者数	214,800人	271,000人
コンベンション参加者数	128,825人	153,000人
移住相談件数	2,000件	10,000件 (R8～R12の合計)

主な事務事業

施策① 広域的な観光・インバウンドの推進

観光資源の魅力アップ事業

産業観光局

- 烏城灯源郷と幻想庭園の同時開催、岡山城の夜間利用等ナイトタイムエコノミー¹²の実施
- 倉敷市等他都市との連携を通じた日本遺産をはじめとする広域周遊観光の促進
- 瀬戸内海沿岸の都市や西のゴールデンルートアライアンス¹³等と連携した情報発信や、岡山をベース宿泊地とする広域周遊観光等の促進
- 戦国宇喜多家や日本遺産をはじめとする歴史・文化遺産を活用した情報発信、受入体制の整備
- デジタル技術を活用した新たな魅力創出
- 郷土に根付いた芸能の振興と民踊の普及促進

岡山まつり開催事業

産業観光局

- 「うらじゃ」に代表されるおかやま桃太郎まつり、国の重要無形民俗文化財に指定されている西大寺会陽など、岡山らしさを味わえるまつりの開催

観光施設の活用事業

産業観光局

- 岡山城や市内各地の観光施設等の適切な維持管理、有効活用など、受入体制の整備

おかやま観光情報発信事業(インバウンド推進)

産業観光局

- 台湾、中国、韓国などの東アジアやフランスをはじめとした欧米、東南アジアなど、ターゲットを絞ったプロモーションの実施
- 関係自治体との共同による東南アジア方面からのムスリム(イスラム教徒)観光客の受入体制の整備
- 外国人旅行者への宿泊費の助成

施策② 産学官連携によるMICEの誘致

MICE誘致対策事業

産業観光局

- コンベンション開催補助金の交付をはじめとする各種コンベンション開催支援
- 情報収集、セミナーの開催、MICE主催者へのセールス等の誘致活動
- ミーティングやインセンティブ旅行への支援の実施

施策③ 都市ブランドをいかした観光プロモーションの推進

おかやま観光情報発信事業(プロモーション)

産業観光局

- 「桃太郎」をテーマとした情報発信や観光誘客イベントの開催、観光素材の創出による観光客が楽しむことができる観光地づくりの推進

用語説明

¹² ナイトタイムエコノミー：夜間の様々な活動を通じて、地域の魅力や文化を発信し、消費拡大などにつなげる考え方、行動。

¹³ 西のゴールデンルートアライアンス：大阪より西のエリアへ欧米豪旅行者や高付加価値旅行者などを誘客し、広域ルートの形成を図ることを目的に自治体や民間事業者等で構成する組織。

施策④ まちを支える人材の移住・定住促進

移住定住促進事業

市民協働局

- 東京、大阪における移住希望者の就職支援を主とした相談窓口の運営
- 移住に伴う仕事や住まいに関する補助、岡山県、岡山連携中枢都市圏の市町等との協働によるセミナーや座談会等の開催、首都圏・関西圏等での移住相談会への参加等の移住支援
- 移住支援の専用ウェブサイト、インスタグラム等SNSを活用した情報発信

雇用対策等事業[再掲]

産業観光局

- 幅広い世代を対象とした就職支援事業による市内企業の人材確保の支援
- 市内企業の企業情報の収集・整理及び大学生等への提供による情報発信
- 新規学卒者等を対象とした合同企業説明会の実施
- 市内企業への就職促進のための、県内外の学生と市内企業との交流の場の創出
- 外国人留学生等と企業の交流の場の創出等による市内企業の人材確保の支援

学生イノベーションチャレンジ推進プロジェクト

政策局

- 学生が地域や市内企業等との協働により実施する地域課題の解決等に資する活動への支援

魅力と賑わいのある まちなかの創出(まちなか)



現状と課題

- 中四国のゲートウェイである岡山市のまちなか(中心市街地)は、高次都市機能¹が集積し、市内外から多くの人が集い・交流しています。魅力と賑わいの更なる創出を図り、市域全体や都市圏の発展をけん引することが求められています。
- まちなかは、商業・業務・集客施設等が集積するJR岡山駅周辺エリアと、歴史遺産や文化施設が集積する旧城下町エリアの2つの核で形成されており、それぞれのエリアの特性を踏まえ、観光・MICE²、ビジネス等を通じた交流の活性化や、岡山城、岡山芸術創造劇場ハレノワ等の魅力・賑わい拠点の整備を進めてきました。また、両エリアをつなぐ役割を担う「ハレまち通り」の整備や、西川緑道公園、商店街、旭川河畔等で取り組まれている賑わいづくりを後押ししてきました。引き続き、魅力・賑わい拠点の更なる充実と拠点間をつなぐ都市空間の魅力向上を図ることにより、楽しく快適に過ごせるまちなかを創出していく必要があります。
- 県都岡山の玄関口である岡山駅は、1日当たり約13万人が乗降する公共交通ネットワークの要であり、市内で最も人の往来の多い場所です。岡山駅を拠点として、まちなかへの人の流れを効果的に生み出し、まちなかの魅力と賑わいを面的に広げるため、徒歩や自転車、公共交通による移動を前提とした、人中心の交通体系を確立し、回遊性の向上を図ることが必要です。
- 近年、市街地再開発事業等、活発な市街地再生の動きにより、人口の都心回帰が進んでいるものの、依然として駐車場等の低未利用地が散在しています。市域全体や圏域の発展をけん引するまちなかには、老朽化した都市機能の更新とともに、国内外との交流やビジネスの舞台となる高次都市機能の更なる集積が求められています。また、民間活力をいかにしながら、高次都市機能や居住機能の充実・強化を図る必要があります。

岡山市のまちなかイメージ図



施策の方向性

施策① 歩いて楽しいまちなかの魅力と賑わいづくり

- 魅力と賑わいあふれるまちなかの創出に向け、岡山城一帯では、歴史・文化遺産をいかしながら、烏城公園石山地区整備、岡山城西の丸活用検討等を進めます。また、市役所新庁舎前では、緑あふれる日常的な憩いの場とともに、賑わいや人々のつながりが生まれる場となるよう、庁舎前広場と大供公園の一体的な整備を進めます。
- 居心地が良く歩いて楽しいまちづくりを進めるため、官民が連携した都市空間の多様な利活用や商店街の魅力向上・活性化に取り組むことで、更なるまちなかの賑わい創出や回遊性の向上を図ります。特に、ハレまち通り、西川緑道公園、下石井公園、烏城公園石山地区は、官民連携の象徴的な場所として積極的に利活用を図っていきます。
- 都市生活に憩いと潤いをもたらす緑と水の空間づくりのため、まちなかの街路樹等のボリュームアップや旭川等の周遊性、親水性の向上により、まちなかで季節の移り変わりが感じられるような魅力ある都市景観の形成を図ります。

施策② 賑わいをつなぐ回遊性の向上

- 県都岡山の玄関口にふさわしい岡山駅前広場とするため、岡山後楽園に見立てた、岡山らしさのある空間を形成するとともに、上屋や公共交通案内所など快適な乗り継ぎ環境を整備することで魅力と利便性の向上を図ります。
- まちなかの魅力や賑わいをつなぐ公共交通の利便性の向上を図るため、路面電車の岡山駅前広場への乗り入れやネットワーク化を進めます。
- まちなかの回遊性の向上に向けて、シェアサイクル「ももちゃり」³の充実や自転車通行空間や駐輪場の整備等により、自転車を安全・快適に利用できる環境づくりを進めます。

用語説明

- 1 高次都市機能：P8の脚注参照。
- 2 MICE：P16の脚注参照。
- 3 シェアサイクル「ももちゃり」：自転車、ラック等を設置したサイクルポートを複数配置し、いずれのサイクルポートでも自転車の貸出・返却ができる自転車の共同利用システム。「ももちゃり」は、岡山市におけるシェアサイクルの愛称。

施策③ 高次都市機能の充実・強化

- 様々な人が住み、交流する賑わいの空間があるまちづくりを重点的に進めるため、高次都市機能の集積と利便性の高い居住空間の創出をバランスよく促進します。
- 市域全体や圏域をけん引するプロジェクトを後押しするため、民間発意による公共貢献を取り入れた都市再生に資する事業においては、容積率⁴割増など規制緩和を含めた都市計画制度の活用により、都市機能の更新と良好な都市環境の創出を図ります。
- 都市再開発方針⁵に基づき、低未利用地の集約化や老朽化、陳腐化した施設の高度利用を図りつつ、エリアの価値と持続可能性を高める市街地再開発事業等を促進します。

- 4 容積率：敷地面積に対する建築物の延べ面積の割合。
- 5 都市再開発方針：都市計画法、都市再開発法に基づく計画的な再開発が必要な市街地に係る整備又は開発の方針で、岡山市の市街地再開発事業等のマスタープランに当たるもの。

成果指標

指標名	基準値 R6	目標値 R12
中心市街地の歩行者通行量(1日当たり) 上段:平日 下段:休日	8.5千人 10.5千人	9.3千人 11.5千人
JR岡山駅乗降客数(1日当たり)	13.6万人	14.4万人

主な事務事業

施策① 歩いて楽しいまちなかの魅力と賑わいづくり

旧城下町エリアの賑わいづくりの推進

政策局、産業観光局、
都市整備局、スポーツ文化局

- 岡山城の魅力向上につながる、必要な施策をハード・ソフト両面から実施〔再掲〕
- 烏城灯源郷と幻想庭園の連携をはじめとする岡山城と岡山後楽園の各種連携イベントの開催や情報発信〔再掲〕
- 官民連携による烏城公園石山地区の整備・運営事業、岡山城西の丸活用検討等
- 「旭川かわまちづくり計画」に基づく、国との連携による旭川の周遊性・親水性向上、周辺における賑わいの創出
- 市民、事業者、NPO、大学等との協働による、まちなかの公園の特性をいかした利活用やルールづくり
- 市民の文化芸術の鑑賞や活動の拠点である岡山芸術創造劇場ハレノワや岡山シンフォニーホールの運営〔一部再掲〕
- 岡山城周辺の旧城下町エリアを主会場とした国際現代美術展「岡山芸術交流」の開催等〔再掲〕

新庁舎周辺施設及び大供公園整備事業

総務局、都市整備局

- 緑でつながる憩いと賑わいの場として、新庁舎前広場・駐車場・大供公園を一体的に整備

歩いて楽しい道路空間創出事業

都市整備局

- 官民連携による、ハレまち通りの道路空間の利活用及び空き店舗や空き地等の有効活用に向けた取組
- まちなかの賑わい創出や回遊性の向上を官民連携により面的に広げる取組
- 商店街等における官民連携の道路空間の利活用に向けた取組

西川魅力にぎわい創出事業

都市整備局

- 西川パフォーマー⁶等との協働による西川緑道公園の特色をいかした定期的なイベントの開催
- 西川緑道公園筋(平和橋～桶屋橋)における歩行者天国による賑わいづくり

下石井公園の魅力向上事業

都市整備局

- 地域住民やまちづくり団体等と連携した公園の利活用
- まちなかの賑わい創出や回遊性の向上を官民連携により面的に広げる取組

商業振興・商店街活性化事業〔再掲〕

産業観光局

- 商店街等の魅力向上・活性化に対する支援
- 商店街の空き店舗解消に対する支援
- 地域商業の新たな担い手の創出・育成

緑のボリュームアップ事業

都市整備局

- 街路樹再生プログラムの実施による緑の量と質の向上
- 樹木の点検・診断の実施と適切な更新

用語説明

⁶ 西川パフォーマー:西川緑道公園で、賑わいづくりにつながる自主的なイベントを行う演技者等。イベント等の企画を市が認定することで「西川パフォーマー」として登録され、必要な支援を受けることができる。

施策② 賑わいをつなぐ回遊性の向上

まちなかの魅力や賑わいをつなぐ 公共交通の利便性向上

都市整備局

- 路面電車の岡山駅前広場への乗り入れ及びネットワーク化に向けた取組の推進
- 岡山駅東口駅前広場の再整備による魅力と利便性の向上

自転車の利活用による回遊性の向上[一部再掲]

都市整備局

- 自転車利用ニーズや道路状況に応じた、安全で快適な自転車通行空間の整備
- 駐輪需要に応じた駐輪施設の整備及び放置禁止区域の指定・拡充
- 放置自転車の解消に向けた指導・啓発
- ポート増設やエリア拡大、電動アシスト付き自転車の導入など、シェアサイクルの利便性向上や利用促進

施策③ 高次都市機能の充実・強化

土地利用の適正誘導 (高次都市機能の充実・強化)[一部再掲]

都市整備局

- 立地適正化計画に基づく都市機能や居住の誘導区域への誘導
- 高度利用地区⁷等の容積率の割増制度を活用した民間開発の誘導
- 容積率の在り方や大街区化⁸など土地の集約化、高度化、都市環境の改善を誘導する施策の検討

市街地再開発事業の促進

都市整備局

- 市街地再開発組合等が施行する再開発事業に対する、良好な都市環境や賑わいを創出するための助言・指導と補助金の交付
- 市街地再開発事業等を検討する初動期の地区権利者が組織する研究会等の自主的なまちづくり活動への支援

用語説明

⁷ 高度利用地区：建築物の敷地等の統合を促進し、小規模建築物の建築を抑制するとともに建築物の敷地内に有効な空地を確保することにより、用途地域内の土地の高度利用と都市機能の更新を図ることをめざした地域地区。

⁸ 大街区化：複数の街区に細分化された土地を集約・整形して大型の街区を創出することにより、敷地の一体的利用と公共施設の再編を図るもの。

特色をいかした 活力ある地域づくり(地域振興)



現状と課題

- 地域の多様性が岡山市の魅力の一つであり、歴史・文化、自然、食など様々な特色を有している一方で、地域ごとに人口減少や高齢化の状況が異なり、抱えている課題も様々です。岡山市では、これまで地域振興基金¹も活用しながら、人口減少が進行する中山間・周辺地域をはじめとした各地域の維持・活性化を図ってきたところであり、今後、住み慣れた地域での暮らしを支え、持続可能な地域づくりを進めていくため、岡山市内全域で地域の課題解決と魅力向上に向けた取組をより一層充実させる必要があります。
- 各地域には、質の高い農作物や多彩な観光資源があり、付加価値²や雇用の創出につながる製造工場や物流施設も多く立地しています。これらの特色をいかした産業の振興と地域をつなぐ物流ネットワークの充実・強化等を通して、地域の「稼ぐ力」を一層高め、地域の経済を持続的に成長させていくことが求められています。
- また、史跡をはじめとした文化財、陣屋町や門前町など、多様で個性豊かな歴史・文化遺産が数多く存在します。これらの保存・継承と活用・発信を進めるとともに、こどもの頃から地域を知り、大切に思う心を育むことを通じて、郷土への愛着・誇りの醸成や地域の魅力創出につなげていくことが求められています。
- 人口減少や高齢化が進行する中でも、誰もが住み慣れた地域で安心して、心豊かに暮らせるよう、交通、子育て、医療・介護サービス、防災・防犯対策など、生活サービスの維持・向上に取り組むことが求められています。
- 地域の担い手が減少する中、地域コミュニティの維持・活性化を図るためには、市民、NPO、企業等の多様な主体と協働して、地域づくりを進めていくことが重要です。各地域において、人と人とのつながりや地域の特色をいかしながら、地域課題の解決に向けた活動や魅力ある地域づくりを進める必要があります。



吉備スマートインターチェンジ24時間化・大型車対応 (令和8年2月1日開通)



区まちづくり独自企画事業 (あそびひろばin東区)

施策の方向性

施策① 地域の経済活性化

- 農業の担い手の確保や生産性向上の支援、生産基盤と集落機能の維持、食と農の魅力発信、都市と農村の交流促進等により、農林水産業の振興に取り組みます。
- 歴史・文化、自然、食などの資源をいかした観光コンテンツや観光ルートの開発、情報発信により、地域の魅力向上を図り、観光誘客につなげていきます。
- 地域未来投資促進法³の活用や産業拠点周辺の市街化調整区域⁴での開発許可の緩和により、製造工場や物流施設等の立地を推進します。
- 産業活動と日々の暮らしを支える環状道路や放射状道路等の整備や高速道路へのアクセス向上など、道路ネットワークの充実・強化を図ります。

施策② 地域の歴史・文化の継承

- 造山古墳群や万富東大寺瓦窯跡など、地域の文化財を適切に保存、整備するとともに、価値を広く発信し、郷土への理解を深め、歴史・文化の継承につなげます。
- 宇喜多家のストーリーや日本遺産「『桃太郎伝説』の生まれたまち おかやま」、「北前船寄港地・船主集落」など、地域の歴史・文化を観光資源として磨き上げ、魅力を発信し、観光誘客を図ります。
- こどもの頃から地域の歴史・文化に触れ、学び親しむことができる環境づくりを行い、市民の郷土への愛着と誇りを醸成します。

施策③ 地域の生活サービスの維持・向上

- 地域住民や交通事業者と連携し、公設民営による支線バスの運行や生活交通⁵（デマンド型乗合タクシー⁶）など地域のニーズに応じた移動手段を確保することにより、利便性の高い持続可能な移動環境を整備します。
- 認定こども園、放課後児童クラブの整備など、地域における子育て支援を進めるとともに、地域包括ケアシステムの推進など、誰もがその人らしく心豊かにいきいきと暮らせる地域づくりを進めます。
- 地域のつながる力を高めつつ、防災・防犯の備えを強化し、また、生活道路の適切な維持・修繕や用水路等への転落防止対策を進め、安全・安心な地域づくりを進めます。
- 地域において、スポーツ活動に親しむことができる環境を充実させるとともに、文化芸術を楽しむ機会を広げていきます。

施策④ 持続可能な地域づくりの促進

- 市民、NPO、企業等の多様な主体による地域づくりを支援するとともに、新たな担い手を育成することで、地域コミュニティの維持・活性化を促進していきます。また、地域と行政が協働しながら、地域課題の解決に取り組むとともに、地域資源や特色をいかした取組により地域の魅力を発信することで、地域への愛着の醸成や活力の創出を図ります。

用語説明

1 地域振興基金：地域振興に要する経費の財源に充てるため設置した基金。中山間・周辺地域の振興につながる事業の財源として活用。
 2 付加価値：P12の脚注参照。
 3 地域未来投資促進法：P81の脚注参照。

4 市街化調整区域：P81の脚注参照。

5 生活交通：P31の脚注参照。

6 デマンド型乗合タクシー：利用者の予約に合わせ運行する乗合のタクシー。自治体の技術面・費用面での支援のもと、地域住民や事業者等が主体となって運営するもの。

成果指標

指標名	基準値 R6	目標値 R12
居住地域への愛着度	77.5% (R5)	80% (R11)

主な事務事業

施策① 地域の経済活性化

活力ある農業の振興	産業観光局
<ul style="list-style-type: none"> 担い手の確保・育成と所得向上 [再掲]、生産基盤の確保・整備と農村振興 [再掲]、食と農の魅力発信 [再掲]、環境に配慮した農林水産業の推進 [再掲] 	
地域資源をいかした観光誘客	産業観光局
<ul style="list-style-type: none"> 観光資源の魅力アップ事業 [再掲]、岡山まつり開催事業 [再掲]、観光施設の活用事業 [再掲] 	
企業立地の推進	産業観光局
<ul style="list-style-type: none"> 企業立地推進事業 [再掲] 	
産業と暮らしを支える道路ネットワークの整備	都市整備局
<ul style="list-style-type: none"> 外環状線（岡山環状道路）・中環状線の整備 [再掲]、放射状道路等の整備 [再掲]、広域交通網の整備 [再掲] 	

施策② 地域の歴史・文化の継承

地域の文化財の保存と活用	教育委員会
<ul style="list-style-type: none"> 史跡保存整備事業 [再掲]、文化財指定の推進 [再掲]、史跡公有化の推進 [再掲] 	
歴史・文化をいかした魅力づくり	産業観光局
<ul style="list-style-type: none"> 観光資源の魅力アップ事業（歴史・伝統・文化の活用、継承） [再掲] 	
歴史・文化を通じた郷土への愛着と誇りの醸成	政策局、産業観光局
<ul style="list-style-type: none"> 岡山の歴史・文化に親しむ事業 [再掲]、観光資源の魅力アップ事業（歴史・伝統・文化の活用、継承） [再掲] 	

施策③ 地域の生活サービスの維持・向上

公共交通の維持・拡充	都市整備局
<ul style="list-style-type: none"> 地域公共交通利便増進事業の推進 [再掲]、生活交通の維持・改善 [再掲]、新たな生活交通（デマンド型乗合タクシー等）の導入 [再掲] 	
地域における子育て支援	岡山っ子育て局
<ul style="list-style-type: none"> こども家庭センター⁷を中心とした相談支援の充実 [再掲]、安定的な保育の受け皿の確保 [再掲]、放課後児童健全育成事業 [再掲] 	
地域包括ケアシステムの推進	保健福祉局
<ul style="list-style-type: none"> 生活支援体制整備事業 [再掲]、認知症サポーター養成事業 [再掲]、高齢者施設の整備 [再掲]、地域包括支援センター運営事業 [再掲] 	

用語説明

⁷ こども家庭センター：P39の脚注参照。

安全・安心な地域づくり	市民協働局、下水道河川局、産業観光局、危機管理室、都市整備局、消防局
<ul style="list-style-type: none"> ● 安全・安心ネットワーク⁸支援事業〔一部再掲〕、浸水対策事業〔再掲〕、用水路等安全対策事業〔再掲〕、道路改修事業〔再掲〕、自主防災組織⁹育成事業〔再掲〕、消防団機庫と装備の整備〔再掲〕、防犯カメラ設置支援事業〔再掲〕、地域防犯ボランティア支援事業〔再掲〕、防犯灯設置・設置支援事業〔再掲〕 	
スポーツ・文化活動の推進	スポーツ文化局
<ul style="list-style-type: none"> ● 生涯スポーツ振興事業〔再掲〕、体育団体等育成事業〔再掲〕、体育施設管理事業〔再掲〕、体育施設整備事業〔再掲〕、文化芸術に親しむ事業〔再掲〕 	

施策④ 持続可能な地域づくりの促進

地域づくり活動の支援	市民協働局、各区役所、教育委員会
<ul style="list-style-type: none"> ● 岡山ESD¹⁰プロジェクト推進事業〔再掲〕、公民館ESD活動推進事業〔再掲〕、区づくり推進事業〔再掲〕、安全・安心ネットワーク支援事業〔一部再掲〕、住民自治組織育成事業〔再掲〕 	
区のまちづくりと情報発信	各区役所
<ul style="list-style-type: none"> ● 区まちづくり独自企画事業の実施やSNS等を通じた区の魅力発信〔一部再掲〕 	
地域の未来づくり推進事業	政策局
<ul style="list-style-type: none"> ● 中山間・周辺地域の持続可能な地域づくりのため、地域課題解決に取り組むコミュニティビジネス創出の支援 	
地域おこし協力隊事業	政策局、北区役所、東区役所、南区役所
<ul style="list-style-type: none"> ● 地域おこしのため、地域協力活動に取り組む人材の誘致 	

用語説明

⁸ 安全・安心ネットワーク：P57の脚注参照。

⁹ 自主防災組織：P28の脚注参照。

¹⁰ ESD：P9の脚注参照。